

歯周病とは？

かつて歯槽膿漏と呼ばれ、歯に付着した細菌の塊（歯垢）によって引き起こされるある種の感染症です。歯周病は痛みなどの自覚症状がほとんどなく、気が付くのが遅れ歯科受診をした時には既に深刻な状態にまで進行していることも多い恐ろしい病気です。

健康で正常な状態



歯と歯ぐきの間もなく、歯ぐきが引き締まっている。

軽度歯周病



歯ぐきが赤く腫れ上がり、歯を磨いたり硬い物を食べると出血することもある。

中度歯周病



ポケットの炎症が慢性化して骨が溶け始める。口臭もあり、歯が浮いたような感じがする。

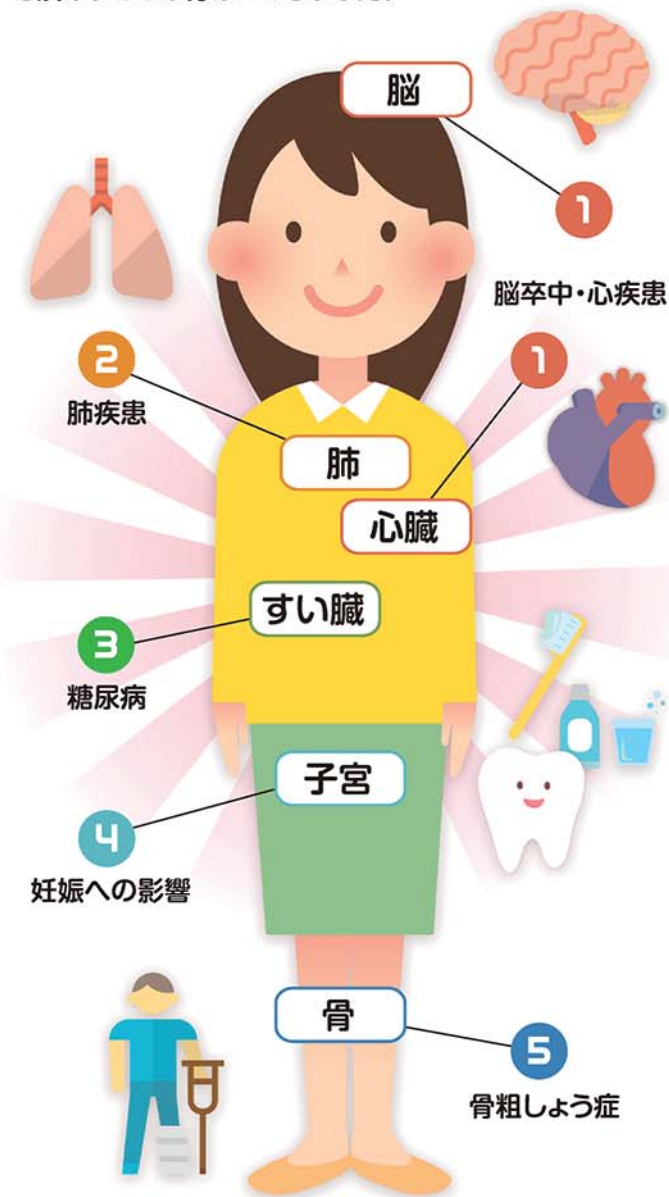
重度歯周病



歯根を支えている骨がほとんど溶けてしまう。歯根が露出し歯のグラつきがひどくなる。

歯周病と全身とのかかわり

近年の研究により、歯周病が全身の健康に少なからず影響を及ぼすことが分かってきました。



1 脳卒中・心疾患

歯周病により動脈硬化が促進されると、脳卒中や心疾患などを引き起こすと考えられています。

2 肺疾患

唾液中の歯周病菌などが誤って気管に入り、肺が感染しておこる誤嚥性肺炎は、高齢者など飲み込む力の低下した人に多く認められます。口腔ケアによりリスクは減少すると言われています。

3 糖尿病

血糖値が高い状態が続くと、様々な合併症が引き起こされるとされており、歯周病は糖尿病の合併症の1つです。最近の研究では、糖尿病と歯周病はお互いに悪影響を及ぼし合っていることが分かってきて、両者の治療が必要であると考えられています。

4 妊娠への影響

歯周病が進むと早産・低体重児出産のリスクが高くなるという報告があり、歯周病による炎症性物質がへその緒を通して影響するためと考えられています。

5 骨粗しょう症

更年期以降の女性に多く、骨がもろくなり骨折のリスクが高くなる病気です。全身の骨密度が少なくなると、歯を支えている骨も減り、さらに女性ホルモンの減少により炎症性サイトカインが増加し歯周病が進行すると考えられています。

健康づくり 応援しています!

あなたのその病気、
もしかして歯周病と関係あるかも

特定健診を
受けましょう!

薬だけでなく
血圧・たばこなど
健康に関することも
ご相談ください!

かかりつけ医

かかりつけ薬剤師

定期的な歯科健診を
受けましょう!

かかりつけ歯科医

生活習慣病の予防には
特定健診と定期的な歯科健診を
受けることが大切です!

あなたも 歯周病チェック

☑ が1項目でもあった方は要注意!

- 朝起きると口の中がネバネバする。
- 歯の表面に白い歯垢や歯石が
たくさんついている。
- 最近口が臭い(臭う)と言われたり
感じたりしている。
- 歯と歯の間に食べ物がよくはさまる。
- 歯ぐきが赤く腫れている。
- 歯が長くなったように見える。
- 歯がぐらぐらする。
- 硬いものがよくかめない。
- 歯ぐきを押しすと血や膿がでる。
- 歯を磨いたら血が出る。
- 歯がしみる。

あなたのその病気もしかして…!

本当は怖い 歯周病!!!



高知市医師会 高知市歯科医師会
高知市薬剤師会
高知市保健所健康増進課